

静岡県漁業協同組合連合会
1052 静岡市追手町 9-18
15.7.25 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 本会第4回理事会を開催 新会長に西川徳市氏を選任

本会では、去る7月18日第4回理事会を開催し、去る6月20日の通常総会をもって辞任した原会長の後任として代表理事会長に西川徳市氏(焼津漁協長)を選任し同日付で就任しました。また、定款の一部変更認可書の到達日より副会長、専務理事に代表権が付与することとなります。

なお、当日はこの他、平成15年度第1・四半期の事業状況報告と財務収支の内容について報告を行って承されました。

当期の事業内容は、職制規程を見直し経済部門への増員を図り積極的な事業展開をしておりますが、事業収支が厳しさを増す中で経済事業の総取扱高は18億64百万円(計画比26.2%、前年比103.8%)で事業管理費は昨年をやや下回ったものの、収益率の低下により経常利益は14百万円余(計画比36.2%、前年比83.8%)と前年を更に下回る厳しい状況となりました。このため会員の更なる系統利用をお願いしました。指導事業、温水利用委託事業については、夫々計画どおり問題もなく実施されている旨報告されました。

また、当日は来年7月執行される参議院議員選挙に出馬を予定している全国比例代表日出英輔氏、静岡選挙区山下善彦氏の推薦決議を行ったほか、去る6月27日設立された「静岡県密漁防止対策協議会」の報告や、本年11月16日に大会の開催を予定している「海の子フェスタ2003」の実施計画等について説明されました。

2. 榛南・伊豆地区磯焼け連絡協議会総会開催される

去る、7月15日榛南・伊豆地域磯焼け対策協議会(吉村長治会長)の平成15年度の総会が開催されました。

席上、平成14年度に実施した榛南地域磯焼け対策事業の状況について、サガラメ、カジメの母藻投入、種苗生産、中間育成、海域移植、養殖の試験結果について夫々相応の効果が認められた旨の報告がなされ、引続き15年度もこれら試験を継続して実施する事業計画が示され、報告並びに計画について夫々承認されました。

同時に、磯焼けにより磯根資源の減少に悩む榛南地先の漁場回復のため、賀茂地区漁業者の支援協力のもと、昨年度事業に着手した「榛南地区地先型増殖場造成事業(14年度より5ヵ年事業)」について、県水産振興室よりその後の状況がビデオ映像を使って報告がされました。それによると昨年秋口に南伊豆下流地先海域に投入した約1,600個のブロックの藻類着生状況は良好で、既にカジメ等の着生が充分認められることから、明年3~5月にかけてその約1/2のブロックを榛南海域に移設する計画が示される等、磯焼けに悩む榛南地区漁業者に漁場回復へ明るい期待を抱かせる報告がありました。

3. 第1回JFマリンバンク全国大会開催される

JF全漁連と農林中央金庫が主催する「第1回JFマリンバンク全国大会」が、去る7月10日東京・虎ノ門パストラルで開催されました。

従来、全国漁協金融推進大会として毎年開催されてきた大会は今年から名称が「JFマリンバンク全国大会」と改められました。

JFグループでは、水産基本法、改正水産業協同組合法、改正漁協合併促進法などのもと、「JF綱領」「アクション・プログラム」を実践し、21世紀の新たな漁協・漁村づくり、JFグループの事業・組織・経営の改革に取り組み始めています。

わが国の金融情勢は一段と厳しさを増し、JFマリンバンクも体質強化が急務となって開催されることになったもので、全国の貯蓄推進委員やJF信漁連、JF全国女性連、JF全国漁青連等関係者等約180名が出席し今年度からスタートしたJFマリンバンク中期推進方策に基づく運動方針を確認し、事業推進体制・JFマリンバンクVプランの構築 組合員が必要とする機能を提供し、全利用に向けた運動の展開を大会宣言として採択しました。

はじめに主催者である農林中央金庫上野理事長、JF全漁連植村会長(代読：JF全漁連佐藤副会長・県信漁連会長)が夫々挨拶を行いました。引続き水産庁田原長官より来賓の挨拶が述べられ、次にJF全漁連宮原常務より、運動の経過報告と15年度方針の提起を行い合わせて、貯蓄推進運動の目標を2兆5,300億円とし、2年連続の減少に歯止めをかけて可能な限り上積みしたいと説明しました。

このあと、推進委員72名(初島漁協信漁連新藤初島支所長・御前崎漁協信漁連岩倉御前崎支所長)と20の漁協女性部(婦人部)が表彰され、上野理事長、佐藤副会長より感謝状が贈呈されました。

4. 県試験研究機関成果発表会のお知らせ

県では、県の研究機関の研究活動を県民の皆さんにわかりやすく紹介し、理解を深めていただくため、一元的な情報発信の取り組みとして、今年度から、部局横断的な研究成果発表会を次のとおり開催します。

開催日：8月2日(土) 13:30~16:30 開催場所：ツインメッセ静岡(北館3階)

発表内容 環境衛生科学研究所：いらぬ熱で捨てている食品を乾燥し再利用

林業技術センター：温度を変えて作る炭とさまざまな効能

静岡工業技術センター：生ゴミから電気をつくる

柑橘試験場：みかんに含まれる成分を皮を剥かずに測る

水産試験場：駿河湾深層水ってなんだろう

* どなたでも自由に参加できます。(入場無料・定員250名) 1階大展示場(WAZAフェスタ2003メイン会場)内に試験研究機関の展示・実演コーナーを併設しています。

5. 諸会議・日程(7月29日(火)~8月11日(月))

- 既報分省略 -

7月29日(火) 県漁連 = 榛南地区漁協合併研究協議会 (相良町役場)

8月8日(金) 県機船底曳網組合 = 役員会 (県水産会館)

〃 共水連県事務所 = 推進専門委員・正副委員長会議 (〃)

〃 県漁港協会 = 平成15年度漁港漁場担当者実務研修会 (ブケ東海)

日程変更：7月25日(金)開催予定の県漁協共済組合理事会は、7月30日(水)に変更になりましたのでお知らせします。